

令和3年度 事業報告

令和3年度は、世界的に新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るい国内外における古紙を取り巻く環境が大きく変化する中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業4つの柱として取り組んできた。コロナ禍において、一部事業の中止や延期を余儀なくされたものの、令和3年度事業は次のとおり実施した。

1. 古紙品質安定対策事業

中国の古紙輸入“0”ならびに東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きが拡大する中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。また、新たに「個別品質対策」では基礎的な古紙品質情報を必要とする地方自治体等の環境行政担当者や関係団体のニーズを探り、その啓発ツールを作成し提供した。

(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 1ベール	2工場 2ベール	
東北地区	1工場 2ベール		
関東地区	5工場 10ベール	4工場 8ベール	10工場 20ベール
中部地区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近畿地区	3工場 12ベール	1工場 4ベール	1工場 1ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九州地区	2工場 3ベール	2工場 4ベール	3工場 5ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 〈基準 3%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和3年度	96.7%	1.8%	1.5%
令和2年度	97.9%	1.6%	0.6%
過去8年平均 ^注	96.3%	2.8%	0.9%

注) 過去8年平均は、平成24年度～令和元年度の8年間の平均。

【新聞】

	新聞	チラシ	その他紙 〈基準 1%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和3年度	64.2%	33.5%	2.1%	0.2%
令和2年度	62.7%	34.5%	2.5%	0.3%
過去8年平均	61.3%	36.1%	2.2%	0.3%

【雑誌】

	雑誌	その他紙 〈基準 5%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.5%以下〉
令和3年度	66.4%	32.9%	0.7%
令和2年度	67.0%	31.9%	1.1%
過去8年平均	62.8%	36.1%	1.1%

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル報告及びトラブルに至らなかったもので改善を促した古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告すると共に全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地区	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区					0 (1)	0 (1)
関東地区	4 (6)	1 (1)	7 (5)	5 (2)	5 (4)	22 (18)
近畿地区		0 (3)		0 (2)		0 (5)
中四国地区					0 (1)	0 (1)
合計	4 (6)	1 (4)	7 (5)	5 (4)	5 (6)	22 (25)

品質改善を促した古紙品質情報は、製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである(令和3年4月～令和4年2月集計)。

【受入れ時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区		5		55	78	138
東北地区					4	4
関東地区		144		192	142	478
静岡地区		10		1	258	269
中部地区	1	2		13	13	29
近畿地区		4		43	67	114
中・四国地区		9		2	161	172
九州地区		51		67	303	421
合計	1	225	0	373	1,026	1,625

【仕込み時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区		1		108	69	178
関東地区			14			14
静岡地区						0
中部地区		2		24	49	75
近畿地区		11		8	4	23
九州地区	5	6	6	33	76	126
合計	5	20	20	173	198	416

(3) 個別古紙品質対策

製紙メーカー工場でロウ引き段ボール及び油汚れが付着した段ボールの発見が増加したことから、関東製紙原料直納商工組合作成の混入防止リーフレットのデザイン提供を受け、センターでロウ引き段ボール及び油汚れが付着した段ボールの混入防止リーフレットを作成し配付した。

また、実物サンプルを入れた禁忌品見本帳を作成し配付した。

2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底や未利用古紙の掘り起こし等に関する事業をコロナ禍において可能な範囲で実施し、基礎的な古紙品質情報を必要とする地方自治体等の環境行政担当者への啓発冊子の作成や未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図った。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

研修会を対面にて2件、オンラインでの録画公開の方法にて1件実施した。新型コロナウイルス感染防止の観点から一堂に会して研修会を実施するのは難しいことから、今後はウェブを活用したオンライン研修会の拡大を検討する。

開催日	開催地	対象者	参加者数	申込団体等
令和3年 11月19日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、金沢市等	16名	石川県再生資源事業協同組合
令和4年 1月19日	北海道 千歳市	集団資源回収を行っている千歳市内の町内会等所属者	32名	公益財団法人ちとせ環境と緑の財団
令和4年 2月中	オンライン 録画公開	港区内事業者	224名	港区環境リサイクル支援部みなとリサイクル清掃事務所
実施数：3回 ・ 参加者数：272名				

2) 紙リサイクル出前授業

ア 出前授業の実施

主に小学生高学年を対象に、対面とオンラインを併用して実施した。コロナ禍でも出前授業の実施を希望する学校が多く、オンラインでの実施は昨年度の5校・団体から、16校・団体に増加した。また、オンラインでの出前授業では学校側の負担軽減のため、要望に応じてシルバー人材センター会員を派遣し、準備、片付けのサポートを行った。

実施数は45校・団体(対面29件、オンライン16件)、参加者は2,817名(対面1,501名、オンライン1,326名)。

地区	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
関東	令和3年5月21日	朝霞市立第四小学校4年生	online	109名
	6月12日	板橋区1～6年生	対面	17名
	6月17日	加茂市立加茂南小学校4年生	対面	39名
	7月21日	朝霞市4～6年生	対面	24名
	8月3日	松原まちづくりセンター1～5年生	対面	13名
	8月18日	千葉市立磯辺小学校高学年ルーム4～6年生	対面	21名
	8月26日	市川市立信篤小学校 学童保育クラブ1～4年生	対面	29名
	9月16日	千葉市立川戸小学校4年生	対面	49名
	9月28日・29日	横浜市立帷子小学校4年生	online	51名
	10月4日・7日	中央区立明石小学校4年生	対面	98名
	10月8日	朝霞市立朝霞第二小学校	対面	122名

地 区	実 施 日	対象校等・学年	形式	参加者数	
関 東	10月18日	坂戸市立桜小学校3年生	対面	58名	
	10月26日	志木市立宗岡第三小学校4年生	対面	55名	
	11月2日	多摩市立多摩第一小学校4年生	対面	116名	
	11月5日	目黒区立下目黒小学校4年生	対面	68名	
	11月10日	横浜市立入船小学校5年生	対面	20名	
	11月17日	横浜市立洋光台第四小学校4年生	対面	46名	
	12月9日	横浜市立芹が谷南小学校3年生	対面	20名	
	令和4年2月9日	柏市立増尾西小学校	online	12名	
静 岡	令和3年6月17日	富士市立吉永第二小学校4年生	対面	22名	
	6月21日	富士市立原田小学校4年生	対面	55名	
	6月23日	富士市立吉永第一小学校4年生	対面	65名	
	6月25日	富士市立富士川第二小学校4年生	対面	51名	
	7月6日	富士市立富士第一小学校4年生	対面	132名	
	7月8日	富士宮市立吉原小学校4年生	対面	82名	
	7月13日	富士市立東小学校4年生	対面	9名	
	7月16日	富士市立青葉台小学校4年生	対面	73名	
	10月27日	富士市立田子浦小学校4年生	対面	85名	
	12月3日	富士市立神戸小学校4年生	対面	43名	
	令和4年1月17日	富士市立富士見台小学校4年生	対面	46名	
	中 部	令和3年6月9日	名古屋市立広路小学校4年生	online	79名
		6月29日	岐阜市立城西小学校4年生	online	54名
7月13日・16日		名古屋市立松栄小学校4年生	online	142名	
9月27日・10月1日		名古屋市立稲葉地小学校4・5年生	online	220名	
10月20日		岐阜市立本荘小学校5年生	online	103名	
11月16日		岐阜市立青山中学校1年生	online	53名	
1月21日		東海市立渡内小学校4年生	online	84名	
令和4年2月1日		岐阜市立厚見中学校1年生	online	28名	
3月26日		豊橋市小学生・保護者等	online	27名	
近 畿	令和3年7月6日	大阪市立三先小学校4年生	online	80名	
	10月14日	寝屋川市立国松緑丘小学校4年生	online	44名	
	12月16日	大阪市立長吉南小学校5年生	online	39名	
	令和4年3月18日	神戸市立霞ヶ丘小学校4年生	online	191名	
中・四国	令和3年9月24日	島根県立松江養護学校 安来分教室1～2年生	対面	6名	
	11月17日	高松市立高松第一小学校6年生 高松市立高松第一中学校1年生	対面	37名	
実施数:45校・団体、参加者数:2,817名 (昨年度27校・団体、1,327名)					

イ 小学生版出前授業の授業評価

小学生版出前授業の内容は平成 25 年(2013 年)の開始以来大きな変更なく継続して実施していることから、時代の変化も考慮し学校のニーズに則しているか改めて検証するため授業評価を開始した。

本事業は大学の研究室と連携し教材などを開発している企業教育研究会に委託して令和 3 年度～令和 4 年度にかけて実施することとし、令和 3 年度は既存テキストの問題の洗い出し等を行った。

ウ 中学生版出前授業の開発

紙リサイクル出前授業は小学生向けの教材しか制作していないが、中学校でも実施していくことを考え、中学生版教材の開発を行った。

本事業は令和 3 年度～令和 4 年度にかけて開発することとし、令和 3 年度は紙リサイクルの内容の出前授業に対する学校側のニーズや学習指導要領との関連の確認作業及び中学校教員へのヒアリング準備を行った。

3) 地域広報活動

各地区委員会での紙リサイクルイベントへの参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの中止、あるいは参加を一部見合わせた。

中部地区委員会では、「ながのエコウィーク 2021」に参加した。

また、同地区委員会では、出前授業副読本として、「やってみよう SDGs 紙リサイクルでゆたかな みらいへ」を作成した。

九州地区委員会では、毎年作成している子供向け「紙リサイクル読本」を作成し配布した。

4) 紙リサイクルセミナー

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで、下記テーマにて実施した。感染防止対策としては会場参加者人数の制限に加え、ライブ配信及び録画配信を実施した。

日 時： 令和 3 年 10 月 15 日 13 時 30 分 ～ 16 時 10 分

会 場：	星陵会館	会場参加者数	48 名
		ライブ配信視聴者数	約 140 名
		録画視聴者数	約 820 名

講 演： ① 「Towards 2030 ～SDGs 目標に対するワーキンググループ検討結果～」
日本製紙連合会 SDGs 委員会委員長

日本製紙株式会社 参与 CSR 本部長 上野 満男 氏

② 「自治体の古紙回収の取組みと課題 ～紙リサイクル施策調査より～」

有限会社グローバルプランニング 取締役 小笠原 秀信 氏

③ 「中国製紙業界と東南アジア諸国の現状」

国際紙パルプ商事株式会社 グローバルビジネス統括本部

製紙原料営業本部 本部長 中道 徹 氏

5) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年 4 回、1,100 部/回)として発行した。また、会報デザインのリニューアルを実施し、令和 4 年度から新デザインで発行する。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2021』を作成し配布した。

ウ 自治体向け紙リサイクルハンドブック

全ての自治体で紙リサイクルに関する情報を共有することを目的にセンター発行の啓発冊子から抜粋した『自治体向け紙リサイクルハンドブック 2021 年版』を作成し配布した。

エ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	101 件
DVDの提供	2 件
啓発用パネルの貸出し	0 件

オ ホームページ

SDGs に関する啓発並びにセンターの SDGs への取り組みを発信することを目的に Web ページを新しく作成し、10 月に公開した。

6) 紙リサイクルコンテスト

13 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2021」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、コロナ禍での実施であったが応募点数の増加のために内容を充実し、過去最高の 3,274 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、入賞者の賞状や副賞は原則学校へ郵送し、各学校にて表彰した。

後 援： 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<文部科学大臣賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	宮城県 気仙沼市立松岩中学校 2 年	佐藤 里桜	リサイクルで仲間の輪
ポスター	大阪府 堺市立東三国丘小学校 5 年	小林 美琴	資源も命のように大切に

<金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 福岡県 北九州市立足立小学校 6 年	小田 孝太郎	ワンチームでの挑戦
	中学生部門 山梨県 山梨学院中学校 2 年	名倉 湧希	世界に届け、 生命とリサイクルの輪
ポスター	小学生部門 鹿児島県 霧島市立天降川小学校 3 年	野崎 宏太	待ってました
	中学生部門 東京都 文京区立音羽中学校 2 年	宿谷 艶	ぜひお古紙ください。 持続可能な未来へ……

<特別金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	愛知県 岩倉市立岩倉北小学校 3年	高峰 はるか	わたしの生活の紙リサイクル (作文)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	兵庫県 小林聖心女子学院中学校 1年	山縣 志帆	ひろがれリサイクルの輪 (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	北海道 札幌市立真栄小学校 2年	サムソノ 織美愛	いざっ！うまれかわりに しっかりわけてね 紙リサイクル (ポスター)

<銀賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門 福岡県 明治学園小学校 2年	能美 にな	できる？できない？ 知ろう！紙リサイクル
	中学生部門 愛知県 東浦町立北部中学校 3年	笠松 大輝	祖父の「ある」行動
ポ ス タ ー	小学生部門 岩手県 北上市立黒沢尻東小学校 1年	青木 創志朗	リサイクルで またあおう！
	中学生部門 宮城県 仙台二華中学校 3年	小川 怜禾	未来へつなぐ紙リサイクル

<佳作>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	大阪府 関西創価小学校 4年	細田 幸 生まれ変わる紙と、 二つの合言葉
		福岡県 明治学園小学校 3年	野入 桃子 雑にあつかわないで！ 雑紙の願いと私達の暮らし
		高知県 高知市立大津小学校 6年	高橋 奏 紙は大切な資源という宝物
	中学生部門	静岡県 静岡市立蒲原中学校 3年	久保田 華 リサイクルの輪
		静岡県 静岡市立蒲原中学校 3年	森 美温 めんどくさかった・・・けど。
		静岡県 浜松市立浜名中学校 1年	小梢 蒼依 「紙リサイクル」で地球の未来を 守る
ポ ス タ ー	小学生部門	福岡県 福岡市立那珂南小学校 2年	浅井 颯汰 変身リサイクル！紙のヒーロー
		福岡県 福岡市立那珂南小学校 3年	押方 茉希 牛乳パックをリサイクルして 作ったエコバック
		東京都 武蔵村山市立雷塚小学校 5年	大平 華鈴 つなげよう！広げよう！ 紙リサイクル
	中学生部門	神奈川県 川崎市立高津中学校 1年	上野 文菜 「繋ぐ」
		佐賀県 佐賀県立武雄青陵中学校 2年	野中 夏希 まわそう、リサイクルのサイクル
		宮城県 仙台市立南光台中学校 2年	半澤 美海 楽しみをくりかえす。

<学校特別賞>

学校名
山口県 岩国市立灘中学校
高知県 日高村佐川町学校組合立加茂中学校

<学校奨励賞>

部 門	学校名
小学生部門	兵庫県 神戸市立霞ヶ丘小学校
中学生部門	福島県 白河市立白河中央中学校

7) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

紙リサイクル及びセンター事業と SDGs の関わりを整理し、レポートの取りまとめを令和 3 年度～令和 4 年度にかけて実施することとした。令和 3 年度は紙リサイクルと SDGs の関わりを整理を行った。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(56 団体)に感謝状を贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 1,065 団体となった。

推薦地区	団 体 名
北海道	屯田日鉦団地町内会、清流町内会、しれにあ町内会、東川町会、拓殖老人クラブさわやか
東北	板柳町立板柳南小学校、若松町町内会、若葉町衛生組合、山形市立第二小学校 P T A、館小学校父母教師会、長町西町一地区第 3 子供会グランマークスクエア、名倉町会保健委員会、四丁目子供育成会
関東	堀切四丁目中町会、浮洲文化会、ファミリーグラン代々木西原デクスターハウス管理組合、野口町一丁目自治会、渋沢中学校 P T A、六浦睦町内会、加岸自治会、美花小 P T A、深谷市立岡部中学校 P T A、深谷市立花園中学校 P T A、阿久津町育成会、ひまわり幼稚園 P T A、水海道小学校
	新潟
静岡	富士宮市立柚野小中学校 P T A、富士市立田子浦中学校 P T A
中部	春日井市弥生区、大曾根八軒屋町自治会、八千代台自治会協議会、大江スポーツ少年団、新堅町地区少年連盟、藤の木小学校 P T A、古里小学校教育振興会、笛吹市立境川小学校 P T A
近畿	イトーピア、清水子供会、たつの市立揖西西小学校 P T A、たつの市立揖西東小学校 P T A
中・四国	彦崎野球スポーツ少年団、西高崎老人クラブ、市場子ども会育成会、興除青空子ども会
九州	泉ヶ丘八町内自治会廃品回収係、健軍校区第 6 町内自治会、高城台自治会、金田集会所運営委員会、五条台区自治会、高鍋婦人会、香椎浜サンハイツ第二自治会、多賀野間台自治会

イ 紙リサイクル関連団体等表彰

愛知県古紙協同組合設立 50 周年に対し、表彰を行った。

2) グリーンマーク

令和 3 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和 3 年度	累計
事業者数	16 事業者 (新規承認事業者 8 件)	195 事業者
件数	33 件	744 件

【表示内容変更】	令和 3 年度
事業者数	6 事業者
件数	8 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、コロナ禍影響に伴う、古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき地方自治体古紙関連施策調査及びオフィス発生古紙リサイクル実態調査、家庭紙業界の現状と課題の調査を実施した。また、海外の調査については、新型コロナウイルス感染拡大により現地調査が難しくなったことから調査内容を次年度に再検討することとした。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

事業所の古紙発生及びリサイクル状況を把握するための“オフィス発生古紙リサイクル実態調査”を実施し、調査結果をまとめた。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

ア 地方自治体紙リサイクル施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,181 市区町村より回答があり(回答率 67.8%)、その結果を報告書にまとめて地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

今年度は調査の 1 つとして可燃ごみに占める「紙類」の割合について調べた(家庭系可燃ごみの湿ベースによる組成調査)。その結果、可燃ごみに占める「資源化できる紙」の割合は 12.7%であった。

併せて調査した可燃ごみの重量から可燃ごみに含まれる資源化できる紙の重量を推計すると、約 161 万 t/年になった。

イ 紙リサイクル先進自治体の実態調査

住民一人当たりの古紙回収量(原単位)が多い自治体を「紙リサイクル先進自治体」として整理し、その要因を抽出・分析することで全国の自治体が資源回収や古紙回収の施策を策定する際に活用できる基準を示すことを目的に調査を開始した。

本事業は令和 3 年度～令和 4 年度にかけて調査することとし、令和 3 年度は全市区町村の住民一人当たりの古紙回収量を算出し、カテゴリー別に先進自治体を整理した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報を収集した。また、段ボール古紙の一部にカビのようなものが付着している報告があり、原因調査を実施した。

欧米の古紙品質を調査する予定であったが、新型コロナウイルスの変異株の影響により海外での古紙開梱組成調査を中止した。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

家庭紙業界の現状と課題に関する調査として、家庭紙向け古紙(上物古紙等)の発生及び家庭紙の市場について現状の基礎データを収集、関連する課題を整理し、生産量の将来推計及び家庭紙業界の将来シナリオ等についてまとめた。

5) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

ア 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」

平成30年度～令和2年度にかけてインドでのリサイクルシステム構築支援のため、現地視察、当センターのリサイクル事業の複数回の講義、指導を行う中で、インド版古紙再生促進センター設立が検討された。その後、コロナ禍を経て令和3年度にインド政府により正式承認を得た。また、令和4年度よりインド2都市への設置が進められる予定となっており、センターも日本製紙連合会を窓口 to 技術的なフォローを行っていく。

イ 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会

ウ 包装技術委員会／ISO1860委員会

エ 全国牛乳容器環境協議会／意見交換会(紙パックリサイクル取組状況報告)

オ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

中国の古紙輸入規制後の状況等の把握及びポスト中国としてベトナムを始めとした東南アジア諸国との情報交流についての検討を開始したが、世界的なコロナ流行の影響もあり、断片的な情報収集となった。

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

ア 年間古紙需給統計

イ 古紙需給推移(品種別)

ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移

エ 古紙回収率推移

オ 古紙利用率推移

カ 古紙品種別輸出先別輸出実績

キ 古紙品種別輸入先別輸入実績

ク 中国の古紙輸入量(地域別・品種別)

ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページや会報に掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

古紙の回収量が国内消費量を上回る我が国において、安定的な需給バランスをベースとした持続的な回収システムの維持は社会的にも大きな課題であり、国内では少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内・外の中長期的な課題整理に向けて検討し、調査を始めた。

(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策(備蓄事業)

中国の古紙輸入“0”に伴い、古紙余剰が懸念されたことから、製紙メーカー、古紙問屋、日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を定期的開催し、状況の把握・共有を図った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、欧米を中心に広がっているサーキュラーエコノミーの考えが欧米の製紙・古紙業界に与える影響やアジア諸国の古紙輸入規制が世界の古紙貿易フローへ与える影響等について調査した。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア 中長期的な紙・板紙生産(内需)及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査

既存のデータについて生産品目ごとに統計手法を用いて将来推計を行い、文献調査やヒアリング調査を通じて、紙・板紙の生産量、古紙発生量と回収量、古紙消費量の増減に影響を及ぼす可能性のある周辺情報を収集し、補正情報として将来推計値を補正するための調査を開始した。本調査は令和3年度～令和4年度にかけて実施することとし、令和3年度は既存データに基づく生産品目ごとの将来推計を実施した。

イ オープンセミナー企画・運営

中長期の日本における紙リサイクルのあり方を考えるにあたって、前提となる社会・経済状況の変化や将来像、その課題の共有化を目的とし、「メガトレンド」をキーワードとしたオンラインセミナーの企画・検討を開始した。当事業は令和3年度～令和4年度にかけて実施することとし、令和3年度は第1回講演動画の撮影及び公開並びに第2回講演動画の撮影を行った。

ウ 地区委員会におけるヒアリング調査

全国の紙リサイクル関係者に対し、今後の検討課題整理に向けたテーマについての要望・意見並びにそれに伴うセンター事業運営の方向性への意見等、ヒアリング調査を通じての把握、さらに紙リサイクルの実態と展望、中長期ビジョンを検討していくうえで今後の社会・経済状況の変化並びにトレンドについての把握を開始した。当調査は令和 3 年度～令和 4 年度にかけて実施することとし、令和 3 年度はヒアリング先の選定・ヒアリング項目検討のための基礎調査を行った。

エ 古紙物家庭紙の実態とSDGsの観点からみた取り組み課題に関する調査

古紙物家庭紙の全体像を把握するために、家庭紙メーカーや地方自治体、消費者団体、消費者、スーパーなど幅広いステークホルダーを対象にアンケート調査を行い、取りまとめることで実態の把握を開始した。また、アンケート調査結果に基づいて家庭紙業界関係者にヒアリングを行い、古紙物家庭紙全般の現状や将来展望などの聞き取りを行う。当調査は令和 3 年度～令和 5 年度にかけて実施することとし、令和 3 年度は調査対象の選定と調査方法の検討を行った。

オ 古紙再生・回収選別・製紙工場納入に係るGHGとScope3の算定に関する調査

過去の古紙利用と環境影響に関わる基礎データや考え方を整理し、現状の「古紙発生～回収～選別加工～製紙工場」に於けるGHG(温室効果ガス=CO₂)及びサプライチェーンに於ける「Scope3(原料調達段階)」の算定を令和 3 年度～令和 4 年度にかけて実施することとし、令和 3 年度は過去の文献等の整理を行った。

5. その他の事業

コロナ禍により、各地区委員会において計画していた古紙に関する情報交換、研修会等は、一部事業で実施したものの、ほとんどの事業で中止となった。

以上

令和 3 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 4 年 6 月

公益財団法人古紙再生促進センター